

Memory Media Utility Software Ver. 4.7.0 Windows 版(2022/7/19 リリース)の【動作環境】を更新しました。本ドキュメントでは Memory Media Utility のインストール方法と使用上の注意事項について説明します。SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer および PSZ-SG48/96 などの Portable Storage 本体同梱の取扱説明書と合わせてご覧ください。

【V4.7.0 で対応した内容】

- ・ SBAC-US30/SBAC-UT100 Ver. 2.16 更新機能
(SxS Pro X メモリー接続時の安定性を改善しました)

【動作環境】

この Memory Media Utility Ver. 4.7.0 は下記の環境で動作確認済です。

対応 OS

Windows 10 64bit [22H2](#)

Windows 11 64bit [24H2](#)

Memory

4 GB 以上

HDD の空き容量

500 MB 以上

ご注意： 上記の動作実績は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

【Memory Media Utility のインストール方法】

MemoryMediaUtility_4_7_0_win.zip を解凍します。

MemoryMediaUtility_4_7_0_win.exe をダブルクリックして、インストーラーの指示に従ってください。

以前のバージョンで登録したメディア管理データベースは引き継がれますので、「プログラムと機能」で旧バージョンを選択し削除してから、インストールしてください。

設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

【言語対応について】

本ユーティリティは、システムの言語環境にあわせて、言語 (EN/JP) の切り替えを自動的に行ないます。

【制限事項】

メディアの取り出し操作について

「SxS リーダーライター表示」画面に表示される各ドライブの Eject ボタンで Eject できます。

但し、SBAC-T40 は、Windows の「ハードウェアの安全な取り外し」から、取り出しを行なう必要があります。

【注意事項】

1. 操作上の注意

OS がメディアをマウントする前に本ソフトウェアで操作を行なうと、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・必ずメディアアイコンがデスクトップに表示されてから、本ソフトウェアでの操作を行なってください。
- ・OS 起動前にメディアを接続してしまうと、OS 標準のファイルシステムドライバでマウントしてしまうため、アクセスが遅くなります。このため、OS が起動してから、メディアをマウントするようにしてください。

SxS メモリーカードのフォーマット、および、SxS リーダーライターのファームウェアアップデートについて

- ・Finder や Explorer などメディアを開いたり、アクセスしている場合は実行できません。
- ・ファームウェアアップデート後は、SxS リーダーライターを取り外した後、5 秒以上間隔を空けてから再接続して下さい。
- ・操作中に、万が一ケーブルを抜いてしまった場合、メディアが壊れるか、コンピューターが不安定になる可能性があります。もしそうなった場合は、少し待ってから SxS メモリーを再挿入するか、コンピューターを再起動して下さい。メディアやリーダーライターが壊れていなければ、正常状態に復帰します。

2. マシン環境の設定

- ・ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。
Windows の場合、コントロールパネルで電源オプション>プラン設定の変更>詳細な電源設定の変更を開き、下記項目で変更します（なお、コントロールパネルの表示方法をアイコンにした場合です。表示方法をカテゴリにすると階層が深くなります）。
- ・[スリープ]-[次の時間経過後スリープする]・・・「なし」
- ・[USB]-[USB 設定]-[USB のセレクトティブサスペンドの設定]・・・「無効」

なお、Thunderbolt の省電力モードについては、OS 起動前の UEFI BIOS 内で変更可能です。なお、PC の適切な BIOS 設定については、各 PC メーカーにお問い合わせください。HP 社製 Elitebook の場合、UEFI BIOS 内 Advanced > Port Options > Thunderbolt PCIe Hot plug Mode を “Native + Lower Power mode” に設定し、Main 内の Save and Exit で確定させることで変更できます。

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することで改善場合があります。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

3. SxS メモリーカード、SONY Portable Storage/Professional RAID の初期化について

OS 標準のフォーマット機能で初期化しないで下さい。ソニー製カムコーダやプレーヤー・レコーダでマウントできない可能性がありますので、必ず、本ソフトウェアでフォーマットして下さい。

- ## 4. Memory Media Utility をご使用になる場合、もしくは、UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合
- Memory Media Utility を使う場合や UDF フォーマットされた SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合には、SxS UDF Driver V2.6.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

- ## 5. SxS リーダーライター” SBAC-T40”、もしくは、ExpressCard スロット で SxS Memory Card を使うには

SBAC-T40 や PC の ExpressCard スロットに接続して SxS Memory Card を使用する場合は、SxS Device Driver V3.1.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトよりダウンロードし、インストールしてください。

<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

6. SxS PROX メモリーカードを使うには

古い SxS リーダーライター用ファームウェアの場合、接続が安定しない場合があります。

その際は、本ソフトウェアに同梱されている、最新のファームウェアに更新することで改善できます。
